

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題*p*-トルイジンのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する延長毒性試験—21日間試験番号

91530

試験方法

本試験は、OECD化学品テストガイドライン No.204「魚類延長毒性試験—14日間」(1984年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： *p*-トルイジン
- 2) 暴露方式： 流水式(連続的に試験液を供給する方式)
- 3) 供試生物： ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4) 暴露期間： 21日間
- 5) 連 数： 1試験区につき2連
- 6) 生物数： 20尾/1試験区(10尾/1容器×2容器/1試験区)
- 7) 試験濃度： 100, 50, 25.0, 12.5, 6.25 mg/L(濃度公比：2.0)及び対照区
- 8) 試験液量： 3.6 L/1試験区(1.8 L/1容器×2容器/1試験区)
- 9) 照 明： 16時間明/8時間暗
- 10) 水 温： 24±1℃
- 11) エアレーション： なし
- 12) 試験液中の被験物質の分析： 高速液体クロマトグラフィー (HPLC)
(0, 3, 7, 14及び21日目)

結 果

- 1) 21日間の最小致死濃度=25.0 mg/L
 - 2) 21日間の最小作用濃度=25.0 mg/L
 - 3) 21日間の最大無作用濃度 (NOEC) =12.5 mg/L
 - 4) 7日間の半数致死濃度 (LC50) >100 mg/L
 - 5) 14日間の半数致死濃度 (LC50) =85.2 mg/L (95%信頼区間: : 65.7 ~134 mg/L)
 - 6) 21日間の半数致死濃度 (LC50) =80.1 mg/L (95%信頼区間: : 62.8 ~118 mg/L)
- (上記濃度は、全て設定値に基づく値)